

みんなの安全・安心なまちづくり

秩父市では、世界基準の安全・安心なまちづくりを進める都市として、セーフコミュニティの取り組みを推進しています。セーフコミュニティとは、「事故やケガは偶然起こるのではなく、予防することができるといふ理念に基づき、根拠となるデータを検証しながら、市民の皆さんとさまざまな団体が協働して予防策を行う安全・安心なまちづくりです。当市では7つの分野ごとにデータの分析、取り組みを実施していますが、今回は犯罪の防止対策委員会の取り組みについてご紹介します。

犯罪の防止対策委員会では、「防犯活動啓発のためのパトロールカードの配布」、「防犯カメラ、防犯灯、防犯カメラ作動中表示の設置」、「施錠の徹底（鍵かけ運動）」の呼びかけ、「振り込め詐欺撲滅運動の実施」、「犯罪の芽を摘む運動の実施」などの取り組みを推進しています。「パトロールカードの配布」では、各町会の自主防犯組織を中心に非常に多くの団体でパトロール活動が行われていますが、犯罪に対して不安に感じる市民が多いというアンケート結果から、パトロール活動を周知するため、パトロールカードを作成・配布しています。防犯パトロールを行った区域の住宅に、巡回したことを記載したカードを配布することで、市民の安心感の向上につながっています。

また、犯罪者が嫌う一人一人の「地域の目」を増やしていくため、市役所退職者や隣組長の皆さんに、近隣を回る時に子どもの見守りや不審者情報の提供などの協力を依頼しています。「防犯カメラ、防犯灯、防犯カメラ作動中表示の設置」では、市街地の商店街を中心に防犯カメラの設置を推進しています。また、防犯カメラが設置してあることを知らせるため、防犯カメラ作動中の表示を設置し、犯罪の抑止を図っています。



パトロールカードの配布

防犯灯については、商店街、町会、市で設置していますが、効果的なものとするため、設置位置を改善するとともに、新たに設置する防犯灯は照度の明るいLED灯としています。「施錠の徹底（鍵かけ運動）」の呼びかけでは、侵入盗被害の約6割が、鍵をかけないで被害に遭っていることから、特に侵入盗被害の多い地区を中心に、「鍵かけ運動」のステッカーを配布し、注意を呼び掛けています。



鍵かけ運動ステッカー

「振り込め詐欺撲滅運動の実施」では、警察や埼玉県などの関係機関と連携して、街頭キャンペーンを実施し、啓発チラシ等を配布しています。また、不審な電話が多くかかってきている時は、警察と連携を取り、防災無線や安心安全メールによる注意喚起を行っています。「犯罪の芽を摘む運動」では、犯罪につながるような行為を目撃した際に、見て見ぬふりをせずに、警察や関係機関に連絡してもらおうように啓発するもので、地域に密着している交番と駐在所の連絡先を載せたチラシを配布し、犯罪者が嫌う「地域の目」に対する意識を啓発しています。

次回は、災害の防止対策委員会の取り組みを紹介します。問危機管理課 ☎22-2206

「秩父市セーフコミュニティ認証1周年記念イベント」を開催しました

昨年11月に国際認証を取得した秩父市セーフコミュニティの認証1周年を記念して、市民と協働による安全・安心なまちづくりをテーマとし、10月19日に、記念イベントを実施しました。



市民協働を推進し、セーフコミュニティの取り組みを自治体単位で行っている長野県箕輪町の取り組みをご紹介します

演じただけでなく、秩父市セーフコミュニティの取り組みについて紹介をしました。5年後の再認証に向けて質の高い安全・安心なまちづくりを実現するため、引き続きセーフコミュニティ活動のさらなる強化に取り組んでいきます。問危機管理課 ☎22-2206